

独占 スcoop!! シナリオライター「井上啓二」氏 と ディレクター「Y (ガンマ)」氏 に突撃インタビュー!!

今回は、物語の真髄を知り尽くしているお二人にインタビューに行ってきました! ここだけの限定インタビューですので、お聞き逃しのないように!

シナリオライター「井上啓二」氏より

本作のテーマ

本作のテーマは、「時代に嫌われた子供たちが、それでもその時代を受け入れ、自らに筋金を入れて強く逞しく成長していく」姿を描き、そしてその姿をお客さんに見てもらうことで、現実の世界を生きる力に換えてもらうこと——です。今のこの世界、日本、現実、社会、人々は、なぜこれほどまでに「時代に嫌われて」いるのか。その中でも、子供たちはなぜこれほどまでに「嫌われて」いるのか、「祝福」を与えることを拒まれていくのか——僕はこの「創世奇譚 アエリアル」で、そんな「時代に嫌われた子供たち」が、それでもその時代を受け入れ、強く逞しく成長していく姿を描くことで、プレイしてくれる方々に「現実の世界」を生きる力を持ってもらいたいと思い、この作品を書き上げました。物語は「現実逃避の場所」じゃなく、「現実を生きるための力」となるべきです。そうでなければ、物語がこの世界に存在する意味はなく、物語の存在自体があまりにも悲しくなってしまう。この作品に懐かしさはありません。この作品に癒しはありません。この作品に温かさはありません。ですが、希望はあります。ただそれは、一度叩きつぶされ、どん底まで落とされ、そこから這い上がった、本当に強く成長した者にしか見えない「本物の希望」です。誰かから与えられる、「ニセモノの希望」ではありません。「創世奇譚 アエリアル」は、プレイしてくれる方々にも「強さ」を要求します。この作品をプレイして下さる方が、その身の内にこの作品を最後までプレイできるだけの「秘めたる強さ」を蓄えていてくれることを祈ります。そうすれば、「創世奇譚 アエリアル」をプレイし終えたとき、この「クソツラな現実」を生き抜く、確かな力になってくれると信じています。

本作の見どころ! ここに注目!!

本作の見所は「トータルクオリティ」です。つまりは、作品の全てが見所というわけです。本来「プロ」が作る作品というのはそうでなければいけないと思います。シナリオのプロ、絵のプロ、プログラムのプロ、音響のプロ、声のプロ——プロと名乗る人間が協力して作品を作り、商品としてお届けする以上、その全てが見所になっていなければならないはず。今回、ゲーム本体の開発を、ディレクターのYさんを中心に福岡のあかべそふと本社で行い、執筆と音声収録は、井上を中心に東京で行いました。ですから、井上が直接指示を執ったのは音声収録に関してのみなのですが、それでも収録に参加して下さった声優さんは、みんな本気の演技をして下さいました。ある声優さんは、戦闘中の叫び続けるシーンのため、わずか100ワードで声優の命である声を演じてしまいました。ある声優さんは、どうしても前回の演技が気に入らないと、5時間の収録のあと、さらに2時間のリテイクを自分から申し出て下さいました。ある声優さんは、Hシーンの収録中に実際には自分を抱きしめてくれる人がいないからと、自分の太腿に爪を立てて血を流しました。おそらく、これと同じようなことがYさん指揮下のあかべそふと本社でも繰り返されたことと思います。僕たちは今回この「創世奇譚 アエリアル」という作品を、これ「エロゲー」だからとか、ちょっと「おふざけしてみようか」とか、そういう気持ちは一切持たずに開発しました。本気です。全てに凝って、この「創世奇譚 アエリアル」は本気です。それぞれの分野のプロたちが集結して創り上げた、「アエリアル」という作品そのものが見所です。

ファンの皆さまにメッセージ

「創世奇譚 アエリアル」は、「現実逃避」をするための作品ではありません。「現実」を生きるための力となる作品です。それでもよろしければ、どうぞ買って下さい。どうぞプレイして下さい。最後までプレイして頂けたとき、開発スタッフ全員の熱い魂を感じて頂けることと思います。

ディレクター「Y」氏より

本作の見どころ! ここに注目!!

注目して欲しい見どころですか! 困りましたねー、「全て」なので答えないですね(笑) まずは、分かりやすいところのビジュアル面ではないでしょうか。様々な世代の男女の設定をデザインに反映させる作業は、とても難しい事だと思いますが、キャラクターデザイン担当の川原誠さんに頑張っていただいて、魅力的なキャラクター達に仕上がりました。また、なんといっても主人公のシンが搭乗する主役機、紺碧のアエリアルをはじめ対応変更していくSPOOKのデザイン変化にも注目するとより楽しめると思います。そして、キャラクター達にはそれぞれ過去があり、その過去により構成された信念があり、生き方があります。物語の中で明らかになっていくそれぞれの過去や、作中で起こる出来事を経て変化(成長)していく人々の姿は大注目です。人も対応変更(外見じゃないですよ!)していくんです! SPOOKだけではないんです(笑) また、体験版をプレイしていただければ感じて貰えると思うのですが、井上さんが自ら立ち会って声優の皆さんと作り上げたキャラクターボイスが各キャラクターのリアルな人格を生み出し、そして、それに負けないようなSE、BGM、演出スクリプトで各シーンを盛り上げています。そういう考えからいうと、創世奇譚 アエリアルの見どころは「総合力」かもしれません。プレイしながら様々な要素を楽しんで貰えたら嬉しいですね。

ファンの皆さまにメッセージ

創世奇譚 アエリアルは、Elements Gardenの上松さんが作曲、しほりさんが作詞・ボーカルをして下さった主題歌「紺碧のアエリアル」。その楽曲を使って神月社さんに制作いただいたOPムービーは本当に素晴らしいものに仕上がっております。「創世奇譚 アエリアル」を購入予定の方には勿論、そうでない方にも是非見ていただけたら嬉しいです。

創世奇譚
アエリアル
A DEEP DREAM IN GRAND BLUE

2012年7月27日(金)発売予定
原画: 川原 誠 / ざせつおう
シナリオ: 井上啓二
メカニックデザイン: ikki

最新情報は公式HPにて公開中!

<http://www.akabeesoft3.com>

毎週金曜日は「アクアポリス・ブロードバンド・ニュース」
ABN特設課・星海島特派員」レポート更新!



このリーフレットに記載されている画像・文章はすべて開発中のものです。
予告なく改正・変更が行われる場合があります。あらかじめご了承ください。

18歳未満の方は
ご購入できません。

© AKABE SOFT3 All rights reserved.



2012.7.27.ON SALE

原画: 川原 誠・ざせつおう シナリオ: 井上啓二 メカニックデザイン: ikki

初回特典

「創世奇譚 アエリアル」
マキシシングル
CD同梱!



貴様はクズだ。人間のクズ。男のクズだ

……泣いちまえ。俺も泣くから、泣いちまえ

このクソッた現実が嫌なら、自分でどうにかするしかないんだ

「……Yes, Elemental Driver」

やり残したことが沢山あるのにっ!!
大切な人が沢山いるのにっ!!

戦友を救える可能性が1%でもあるのなら絶対に見捨てない!
それが「MARINE」です!

わしらを見捨てないでくれええっ!!!!!!!!!!!!!!

……だってわたしは、わたしと『Aerials』は、
あなたに従い、あなたと共に戦うために生まれたんですもの

温暖化現象を遙かに上回る「超温暖化現象」に襲われた、西暦2040年の地球。
北極・南極の氷山、北欧のフィヨルド、ヒマラヤの氷河、シベリアの永久凍土——あらゆる氷が融解し、地球全土が海没。
生き残った僅か10万人の人々は、人工海上浮揚都市「アクアポリス」で絶望に満ちた漂泊の日々を送る。
そんな「アクアポリス」に、追い打ちを掛けるように正体不明の機械生命体「SPOOK」が襲いかかる!
蒼穹の空と紺碧の海に挟まれて、「アクアポリス防衛隊」と「SPOOK」の激しい空中戦が繰り広げられる!
圧倒的な数の「SPOOK」に、ジリジリと潰れていく「アクアポリス」。
そんな滅亡寸前の人類の前に、謎の美少女「聖奈」人と人型機動兵器「アリアル」がその姿を現す。
風とアリアルが、滅亡寸前の人類に指し示す未来とは——?

なんでこっちにくるんだよっっっ!!?
あっちへ行けよっっっ!!!!
あっちへ行けよっっっ!!!!

「もしかしたら」じゃない。絶対に生き延びるんだ!

出来るか出来ないかじゃないんです! やるしかないんです! Sir!
この化け物めっっ!!! 俺の弟に指一本触れさせはせんっっ!!!

僕らは時代に大人になることを強制されているんだ

こんなの、もういやっ!!!!

——ガハハハ!!! まだだ、まだ沈むなよ!!! ミサイルを撃ち尽くすまで、まだ沈むなよ!!!

……この光景の……
——この悲惨な光景の、
どこが良くやったんだっっ!!!!!!!!!!!!

俺もアイツに……シンに会いたいよ
……アイツに会って、また馬鹿騒ぎがしたい……

……もっと生きて……
もっとわたしと暮らして……

2人が死んだのは——
僕の——僕のせいなんだ!!!!

生きたいっっっ——!!!

信じるものは自分自身の力だけさ

……わたしは……まだ……戦えます……
……まだ……これからも……みんなのために……